

探訪 チャレンジ企業 34

創業百年・老舗の挑戦 株式会社山中石川屋：山中町

一 山中温泉を代表する銘菓 —— 娘娘万頭 ——

「山中温泉といえば娘娘万頭、娘娘万頭といえば山中温泉」と世にうたわれ、天下の名湯山中温泉と並び称されるくらい、「娘娘万頭」の名が高い。加賀地方では「娘」のことを「にやあにやあ」という。「加賀のにやあにやあ」は、きれいで気立てがよく誰からも好かれる。この「にやあにやあ」の名を頂いた万頭も、本物の「娘娘」と同じく誰からも愛されて、今では山中町を、更には、広く加賀地方を代表

する銘菓として、しつかりとその地位を確立した。この娘娘万頭を製造し、販売するのが今回ご紹介する株式会社山中石川屋である。

二 創業百年の老舗 —— 株式会社山中石川屋 ——

株式会社山中石川屋本店は山中町の中心部に老舗としての風格を備えた落ち着いた雰囲気のお店を構える。店内には長谷川清画伯と小松砂丘画伯の手になる大幅の画が飾られ、展示の商品とよく調和して「和文化的粋」とでも言うべきすばらしい空間を創り出している。



同店は明治三十七年に初代外次郎翁が町内木戸通りで湯治客相手に土産店を開いたことに始まる。その後長年にわたって旅館中心の営業を続

け、有名旅館専売の「河じか」「湯つき」「聴泉」などの人気商品を開発し販売してきた。

あるとき先代が出入先の旅館から「娘娘」の愛称を持った「娘娘」にふさわしい菓子を作ってみたらどうかとの提案を受け、それならば、自社の製法のこしあんを薄皮で包んだ万頭しかないとの確信を持って開発に取り組み、昭和三十四年二月、遂に完成へとこぎつけた。最大の人気商品「娘娘万頭」の誕生である。

三 衛生的な製造現場 —— 二天工場 ——

同社の商品は全て加賀市河南町にある二天工場で製造される。工場には娘娘万頭製造用の自動包あん機や同じく蒸し上げ、包装などの工程をこなす自動製造ライン、更には手造り作業を主とする多彩な製品群用の設備作業台などが



整然と配置され、特に重要な作業は工場内の一面に設けられたクリーンルーム内で行われている。要所所では、微生物検査も実施されていて、製品の安全性に対する配慮も、充分に行き届いている。

最近食品安全についての重要性が広く世間で認識されるようになってきたが、同社はそれを先取りする形で製造を進め、「美味しさ」を引出すための慎重な作業が結果として食品安全にも大きく貢献するという貴重な生きた実例を提供している。

四 新しい未来を求めて —— 老舗の挑戦 ——

同社の主要な取引先は、最初は温泉旅館であった。客室用のお茶受けや、館内売店での販売が同社の収入源であったが、その後世情の変化とともに自社店舗中心の販売へと切り換えていった。

昭和五十八年に本店を新装開店するとともに、二天工場の新築に取り組み、その三階部分が国道と同じ高さになることを利用して、平成十三年には二天工場も開店させた。数年前からは娘娘万頭の人気をあてこんだ多くの大型店からも出店要請を受け、現在「平和堂」「ジャスコ」「ユニシアピタ」などを中心に、



株式会社山中石川屋社長の石川光良氏

その数は十二店にのぼる。現時点での同社の課題は、一つは「増えていく需要に『取引面での安全性』を考慮しながら誠実に対応していくこと」であり、もう一つは「食品安全システムを確実に実行して『製品の安全性』をより高めていくこと」である。これらの解決は同社にとって決して難しいことではない。老舗こそ時勢に合わせた柔軟かつ果敢な経営が可能であることを実証するためにも、更に大きな夢へと挑戦することを期待したい。

(お問い合わせ)

株式会社山中石川屋

〒九二二〇一〇一五

石川県江沼郡山中町

本町二丁目ナ二四

TEL〇七六一七八〇二二八

FAX〇七六一七六〇三三四

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお訪ねください。